



2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年8月9日

上場会社名 株式会社 山大 上場取引所 東
コード番号 7426 URL <https://www.yamadai.com>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高橋 暢介
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 阿部 竜也 TEL 0225-93-1111
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第1四半期の業績 (2024年4月1日～2024年6月30日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	784	△28.0	△121	—	△116	—	△116	—
2024年3月期第1四半期	1,089	3.9	△21	—	△16	—	△21	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	△105.32	—
2024年3月期第1四半期	△19.24	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第1四半期	5,894	3,479	59.0
2024年3月期	6,059	3,622	59.8

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 3,479百万円 2024年3月期 3,622百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	25.00	25.00
2025年3月期	—	—	—	—	—
2025年3月期 (予想)	—	0.00	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年3月期の業績予想 (2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	1,685	△29.7	△226	—	△219	—	△220	—	△198.68
通期	4,416	△1.4	△309	—	△294	—	△297	—	△267.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期1Q	1,187,368株	2024年3月期	1,187,368株
② 期末自己株式数	2025年3月期1Q	76,529株	2024年3月期	76,529株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年3月期1Q	1,110,839株	2024年3月期1Q	1,110,839株

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（2）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績及び財政状態に関する説明	2
(2) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第1四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績及び財政状態に関する説明

当第1四半期累計期間における我が国経済は、行動制限緩和による経済活動の正常化等を背景とした個人消費の改善やインバウンド需要の拡大の動きがみられる一方、不安定な国際情勢の中、円安による物価上昇の継続等により、依然として不透明な状況が続いております。

住宅建築業界におきましては、物価の高騰等により新設住宅着工戸数は軟調に推移しております。また、ウクライナ情勢の長期化等による資源価格等の高騰などにより、先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況のもとで、改正木材利用促進法（脱炭素社会の実現に資する等のための建築物等における木材の利用の促進に関する法律）が2021年10月1日に施行され、対象が民間建築物や中高層建築物を含む「建築物一般」に拡大されたこと、更に地球上で唯一の循環資源である木材を生かして「持続可能な開発目標 SDGs」の実現に貢献していくことを宣言いたしました。私たちは、「木材の温もりと笑顔あふれる社会」を目指し、非住宅建築の木造化を推進し、地産地消の認証木材や合板木材（クリーンウッド法）使用による森林保護や高性能住宅により二酸化炭素の排出量を抑制し、地球温暖化防止へ貢献してまいります。

住宅資材事業では、プレカット受注を営業戦略の柱として、建材・住設・エクステリア等のトータル受注を目指してまいりました。また、製材工場ウッド・ミルのブランドであります国産人工乾燥杉製材品「宮城の伊達な杉」の更なる普及や、2019年1月に選出された「第7回富県宮城グランプリ」を糧に宮城県内産業の発展や地域経済の活性化に努力してまいりました。

建設事業では、宮城の伊達な杉を使用することで木の本来の性質であります優しい質感と香り、調湿効果に優れ、ある程度の太さがあれば火にも強く耐久性があり、「優しさ」と「強さ」を兼ね備えた「楽しい暮らし、優しい暮らし。」の「楽暮」等と、選ばれた自然素材を採用し心身の健康を配慮した設計ノウハウと健康素材で、構成される住まいの提案と住宅の高断熱化と高効率設備により、快適な室内環境と大幅な省エネルギーを同時に実現した上で、太陽光発電等によってエネルギーを創り年間に消費するエネルギー量が概ねゼロとなる、ZEH住宅等を拡販してまいりました。

この結果、当第1四半期累計期間の売上高は、784百万円（前年同期比28.0%減）となりました。営業損失は121百万円（前年同期営業損失21百万円）、経常損失は116百万円（前年同期経常損失16百万円）、四半期純損失は116百万円（前年同期四半期純損失21百万円）となりました。

なお、セグメントの業績は、次のとおりであります。（各セグメントの売上高は、外部顧客に対するものであります。）

ア. 住宅資材事業

大型木造物件と地域に根ざした営業展開を図るため地場工務店に対する営業活動に注力しましたが、物価の高騰等により新設住宅着工戸数は軟調に推移し、また、原油等の資源価格の高騰や仕入資材等の価格の高騰により工場の製造原価率が上昇したこと等により、売上高739百万円（前年同期比11.2%減）、営業損失22百万円（前年同期営業利益53百万円）となりました。

イ. 建設事業

注文住宅等の競争が厳しく、売上高28百万円（前年同期比88.3%減）、営業損失40百万円（前年同期営業損失15百万円）となりました。

ウ. 賃貸事業

賃貸収入は、売上高15百万円（前年同期比63.0%増）、営業利益10百万円（前年同期比40.3%増）となりました。

財政状態は次のとおりであります。

ア. 資産

当第1四半期会計期間末の資産は、5,894百万円となり、前事業年度末に比べ164百万円減少しました。これは主として販売用土地建物34百万円、建物及び構築物53百万円、機械装置及び運搬具56百万円増加した一方、完成工事未収入金243百万円、受取手形及び売掛金75百万円減少したことによるものです。

イ. 負債

当第1四半期会計期間末の負債は2,415百万円となり、前事業年度末に比べ21百万円減少しました。これは主として賞与引当金14百万円、その他の流動負債60百万円増加した一方、支払手形及び買掛金55百万円、長期借入金38百万円減少したことによるものです。

ウ. 純資産

当第1四半期会計期間末の純資産は3,479百万円となり、前事業年度末に比べ143百万円減少しました。これは主として利益剰余金が144百万円減少したことによるものです。

(2) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年8月5日に公表いたしました第2四半期累計期間及び通期の業績予想につきましては、現在のところ変更ありません。

なお、当該業績予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいて行ったものであります。今後、経営環境の変化等により、当社の業績に影響を及ぼす可能性が生じた場合は、適切に開示してまいります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,092,722	1,115,290
受取手形及び売掛金	529,710	454,513
完成工事未収入金等	245,182	1,338
商品及び製品	219,058	245,500
仕掛品	188,251	198,761
原材料及び貯蔵品	73,184	69,588
販売用土地建物	412,297	447,150
未成工事支出金	20,541	4,476
その他の流動資産	53,397	55,675
貸倒引当金	△1,381	△1,422
流動資産合計	2,832,965	2,590,873
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物 (純額)	773,096	826,490
機械装置及び運搬具 (純額)	40,424	96,654
土地	2,054,376	2,054,376
その他の有形固定資産 (純額)	283,600	250,516
有形固定資産合計	3,151,497	3,228,037
無形固定資産	11,497	10,294
投資その他の資産	63,355	65,159
固定資産合計	3,226,350	3,303,490
資産合計	6,059,315	5,894,364

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2024年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	761,968	706,682
工事未払金	18,315	11,379
短期借入金	195,000	195,000
1年内返済予定の長期借入金	155,120	155,120
未払法人税等	-	1,947
賞与引当金	17,100	31,700
完成工事補償引当金	4,760	3,900
その他の流動負債	159,871	220,594
流動負債合計	1,312,136	1,326,324
固定負債		
長期借入金	759,240	720,460
退職給付引当金	200,220	205,314
その他の固定負債	164,773	163,169
固定負債合計	1,124,234	1,088,944
負債合計	2,436,370	2,415,268
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,103,184	1,103,184
資本剰余金	97,927	97,927
利益剰余金	2,420,612	2,275,847
自己株式	△54,312	△54,312
株主資本合計	3,567,410	3,422,645
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	9,139	10,055
土地再評価差額金	46,394	46,394
評価・換算差額等合計	55,534	56,450
純資産合計	3,622,944	3,479,095
負債純資産合計	6,059,315	5,894,364

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
売上高	1,089,039	784,047
売上原価	923,878	708,413
売上総利益	165,161	75,634
販売費及び一般管理費	186,749	197,134
営業損失(△)	△21,587	△121,500
営業外収益		
受取利息	67	65
受取配当金	1,441	1,620
受取助成金	1,185	794
仕入割引	1,462	1,266
その他	2,386	3,188
営業外収益合計	6,543	6,935
営業外費用		
支払利息	1,674	1,672
その他	8	67
営業外費用合計	1,682	1,739
経常損失(△)	△16,726	△116,305
特別損失		
その他	400	-
特別損失合計	400	-
税引前四半期純損失(△)	△17,126	△116,305
法人税、住民税及び事業税	688	688
法人税等調整額	3,555	-
法人税等合計	4,243	688
四半期純損失(△)	△21,370	△116,993

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	35,426千円	30,436千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期損益計 算書計上額
	住宅資材事業	建設事業	賃貸事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	832,870	246,470	9,698	1,089,039	—	1,089,039
セグメント間の内部売上高 又は振替高	73,114	—	—	73,114	△73,114	—
計	905,984	246,470	9,698	1,162,154	△73,114	1,089,039
セグメント利益又は損失 (△)	53,563	△15,444	7,637	45,756	△67,344	△21,587

(注) 1. セグメント利益又は損失 (△) の調整額△67,344千円は、全社費用 (主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等) であります。

2. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第1四半期累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期損益計 算書計上額
	住宅資材事業	建設事業	賃貸事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	739,352	28,886	15,808	784,047	—	784,047
セグメント間の内部売上高 又は振替高	13,170	—	—	13,170	△13,170	—
計	752,523	28,886	15,808	797,218	△13,170	784,047
セグメント利益又は損失 (△)	△22,284	△40,546	10,711	△52,119	△69,381	△121,500

(注) 1. セグメント利益又は損失 (△) の調整額△69,381千円は、全社費用 (主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等) であります。

2. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期損益計算書の営業損失と調整を行っております。